

平成31年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第2号(5月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（平成31年4月18日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並	平年並が多い	平年並が少ない

○5月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		5月の発生量 (平年比)	4月からの増減	4月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
カンシヨ	① ナカジロシタバ	やや少	→	やや少	平年の発生量の推移（→）
	② イモキバガ	やや少	→	やや少	平年の発生量の推移（→）
さとらきび	① カンシャコバネナガカメムシ(ガイダー)	-	-	やや多	
	② メイチユウ類（カンシャシ ンクイハマキ）	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	④ メイチユウ類(イネヨトウ)	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
かんきつ（温州ミカン）	① かいよう病	並～やや多	↗	並	平年の発生量の推移（→） 今後1か月の降水量が平年並が多い見込み
	② そうか病	多	↗	多	平年の発生量の推移（↗）
	③ アブラムシ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④ ミカンハモグリガ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	⑤ ハダニ類	並	↘	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↘）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○5月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		5月の発生量 (平年比)	4月からの増減	4月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
かんきつ (タンカン)	① かいよう病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の降水量が平年並か多い見込み
	② そうか病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③ アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④ ミカンハモグリガ	並	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗）
	⑤ ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並～やや多	↗	やや多	トラップ誘殺虫数が平年並 平年の発生量の推移（↗）
	② マンゴーハフクレタマバエ	多	↗	多	新梢の発生量が増加するため 平年の発生量の推移（↗）
	③ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
へちま	① べと病	並～やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の降水量が平年より多い見込み
	② うどんこ病	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）
	③ ハモグリバエ類	多	↘	多	平年の発生量の推移（↘）
	④ ヒメクロウリハムシ	並～やや少	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	⑤ ミナミキイロアザミウマ	多	→	多	つる先の平年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○5月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		5月の発生量 (平年比)	4月からの増減	4月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
ゴーヤー (施設)	① モザイク病 (スイカ灰白色斑紋ウイルス以外)	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗） 媒介虫(アブラムシ類)の発生量が多いため
	② うどんこ病	やや少	→	(発生なし)やや少	平年の発生量の推移（→）
	③ 斑点病	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	④ ワタヘリクロノメイガ	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）
	⑤ ミナミキイロアザミウマ	多	↘	多	つる先当たり成虫数が平年より多いため
	⑥ タバココナジラミ	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）
	⑦ アブラムシ類	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）
ピーマン (施設)	① モザイク病	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）
	② 斑点細菌病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗） 0
	③ うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④ ミナミキイロアザミウマ	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）
	⑤ タバココナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移（→） 0
	⑥ アブラムシ類	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→） 0
	⑦ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→） 0
	⑧ ホコリダニ類	並	→	やや多	平年の発生量の推移（→）

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	関係機関からの情報によると、幼果において、平年より炭そ病の被害が多く見られる。 果実肥大期まで定期的に予防散布を行う。 せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類	本島南部の病害虫防除員からの報告によると、本種が中発生であった。 幼虫を見つけ次第捕殺する。 発生源となるハウス内・周辺の雑草を除去する。
(施設)ゴーヤー	モザイク病 (スイカ灰白色斑紋ウイルス)	媒介虫であるアザミウマ類の早期発見・防除に務める。 発病株は感染源となるので見つけ次第抜き取り、密閉処分する。 ・本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒・洗浄を行う。
(施設)ピーマン	スイカ灰白色斑紋ウイルス	媒介虫であるアザミウマ類の早期発見・防除に務める。 発病株は感染源となるので見つけ次第抜き取り、密閉処分する。 ・本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒・洗浄を行う。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 宮古群島 病害虫発生予報 第2号(5月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（平成31年4月19日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並	平年並が多い	平年並が少ない

○5月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		5月の発生量 (平年比)	4月からの増減	4月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
さとうきび	① カンシャクシコメツキ類	多	↓	多	トラップ誘殺虫数が平年より多い 平年の発生量の推移（↓）
	② メイチュウ類 （カンシャシンクイハマキ）	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ メイチュウ類(イネヨトウ)	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗） 開花期～幼果期にあたるため
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗）
	③ ハダニ類	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
とうがん	① うどんこ病	並	→	(発生なし)並	今後1か月の気温が平年並の見込み
	② ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年のつる先の発生量の推移（→）
	③ ハモグリバエ類	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	④ タバココナジラミ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	⑤ ハダニ類	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○5月の発生予報つづき（宮古群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		5月の発生量 (平年比)	4月からの増減	4月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
ゴーヤー（施設）	① うどんこ病	並～やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗） 収穫盛期にあたり、草勢が低下するため
	② 斑点病	並～やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の降水量が平年並が多い見込み
	③ ミナミキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④ タバココナジラミ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	⑤ アブラムシ類	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）
オクラ	① うどんこ病	並	↗	(発生なし)並	収穫期に入り草勢が低下するため
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③ アブラムシ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	④ チョウ目 (オオタバコガを除く)	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）

○その他注意 ミナミキイロアザミウマ

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	カンシャワタアブラムシ	<ul style="list-style-type: none"> ・防除員報告より伊良部島で多発生情報あり。 ・大発生すると吸汁害およびすす病により。 ・さとうきびの生育が遅延するため、早期防除が重要である。 ・収穫予定のさとうきびほ場や近隣作物へ薬剤がドリフト(飛散)しないように注意すること。 ・多発生時は有翅虫が絶えず移動分散するため、一斉防除を行うことが望ましい。
施設野菜	モザイク病 (スイカ灰白色斑紋ウイルス)	<ul style="list-style-type: none"> ・灰白色斑紋病以外のウイルス病は主にアザミウマ類によって媒介される。 ・発病株は伝染源となるため見つけ次第抜き取り、施設外に持ち出しビニール袋に入れて密閉処分する。 ・本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒・洗浄を行う。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 八重山群島 病害虫発生予報 第2号(5月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（平成31年4月19日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並	平年並が多い	平年並が少ない

○5月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		5月の発生量 (平年比)	4月からの増減	4月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
水稲 (一期作)	① スクミリンゴガイ	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
	② 葉いもち病	並~やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗) 今後1か月の降水量が平年より多い見込み
	③ 斑点米カメムシ類	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移(↗)
	④ コブノメイガ	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移(↗)
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	→	やや少	平年の発生量の推移(→)
	③ ハダニ類	やや少	↓	やや少	平年の発生量の推移(↓)
ゴーヤー (施設)	① うどんこ病	並	↗	やや少	例年の発生量の推移(↗)
	② 斑点病	やや多	↗	多	例年の発生量の推移(↗)
	③ ミナミキイロアザミウマ	多	↗	多	例年の発生量の推移(↗) つる先あたりの成虫数が例年より多いため
	④ アブラムシ類	並	→	並	例年の発生量の推移(→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○5月の発生予報つづき（八重山群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		5月の発生量 (平年比)	4月からの増減	4月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
オ ク ラ	① うどんこ病	やや少	↓	やや少	平年の発生量の推移（↓）
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	やや少	→	やや少	平年の発生量の推移（→）
	③ アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④ チョウ目 (オオタバコガを除く)	並	→	並	平年の発生量の推移（→）

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
（ゴ 施 設 ヤ ）	モザイク病 (スイカ灰白色斑紋ウイルス)	<ul style="list-style-type: none"> ・灰白色斑紋病以外のウイルス病は主にアザミウマ類によって媒介される。 ・発病株は伝染源となるため見つけ次第抜き取り、施設外に持ち出しビニール袋に入れて密閉処分する。 ・本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒・洗浄を行う。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：ミナミキイロアザミウマ

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

向こう1か月の天候の見通し
 沖縄地方（4月27日～5月26日）

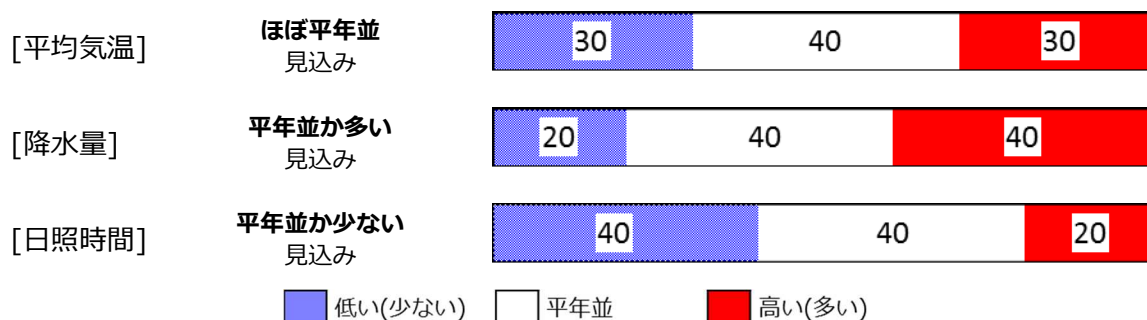
○ 気象予報のポイント

- 向こう1か月の天候は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
- 前線や湿った空気の影響を受けやすく、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

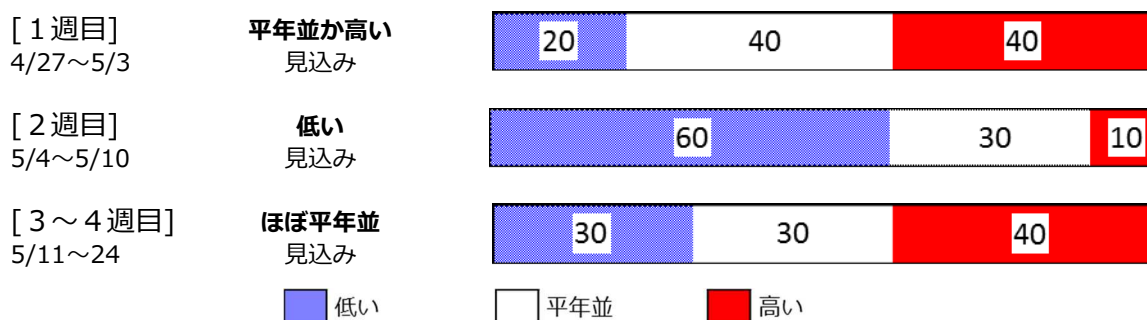


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.2～+0.4℃	平年比：71～111%	平年比：91～105%
那覇	23.4～24.0℃	116.8～204.0mm	114.4～141.5時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.5～+0.5℃	平年差：-0.4～+0.4℃	平年差：-0.2～+0.4℃
那覇	22.3～23.4℃	23.0～23.9℃	23.8～24.5℃

- ※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点平均値です。
- ※ 平年並の範囲は、過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>

本 所	〒902-0072 那覇市字真地123 TEL 098-886-3880 FAX 098-884-9119
宮古駐在	〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40(農研センター宮古島支所内) TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474
八重山駐在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6(農研センター石垣支所内) TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157